

## 2021 年 新春ご挨拶

一般社団法人 日本加工食品卸協会  
会長 國分 晃



新年明けましておめでとうございます。

2021年の年頭にあたりご挨拶申し上げます。皆さまにおかれましては、つつがなく新春をお迎えのこと、心よりお喜び申し上げます。

昨年2020年は、年明け早々から世界的流行となった新型コロナウイルス感染症が我が国においても遂に第3波までを数えることとなり、今だにその終息の目途が立っていない現状です。その影響は感染者数や亡くなられた方の数のインパクトだけに留まらず、私たちの生活様式を根本から変えるものとなり、数年掛けて進むはずの社会構造変化が1年の間に大きく進む結果となりました。交通、観光、外食産業が被った影響は大きく、果たして従前の状況に戻れるかが危惧されるところであります。そのような状況下においても、食のサプライチェーンは普段と変わりなく機能し、生活者の方々へ確実に商品をお届けすることが出来ました。これはサプライチェーンを担う製配販3層が連携して、それぞれの使命を果たした成果であり、それを支えていただいた皆さまに改めて敬意を表するものであります。

さて、本年2021年は大きく変化した生活様式、社会構造を踏まえ、そこに新たな価値を創造し、将来の新たな発展に向けてスタートする年であります。心配されました物流の危機もコロナ禍により一旦は回避されておりますが、物流環境の根本的な問題はまだまだ解決されず、「持続可能な物流の構築」は避けて通れないサプライチェーン全体の課題となっております。日食協といたしましても、そのテーマに積極的に取り組み、課題解決に向け、その役割を果たしていく所存であります。

その中で、日食協が主体となって進めております「N-Torus（トラック入荷受付・予約システム）」は導入拠点も一定の規模となり、業界標準としての位置づけが明確になってまいりました。本年も物流安定化への一助とすべく、その導入拡大を図ってまいります。サプライチェーン全体を繋ぐ「物流・情報」は業界の枠を越えた協調分野であり、製配販連携の中で解決策を見出すべく、協会が一丸となって進めてまいります。

最後に本年も関係各位に一層のご指導・ご鞭撻を申し上げますとともに、本年が皆様方にとってよりよい年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。